

# 風向風速監視装置システム



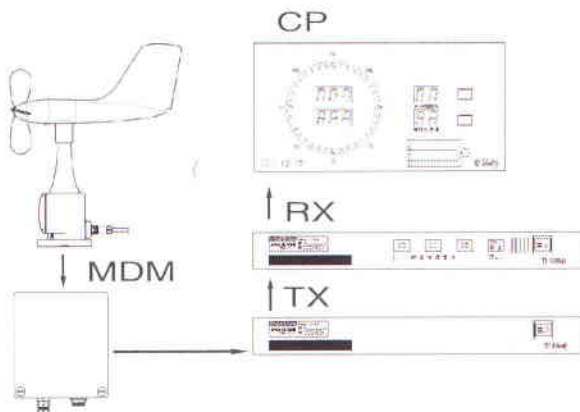
本装置は、鉄道等に影響をおよぼす風の状態を常時監視し、その地点の風向及び風速値を遠距離伝送することができます。

又、カスケード接続することにより、複数の観測地点のデータを同一回線で送ることが可能なため、一ヶ所で数地点のデータの管理と外部への出力ができます。

更に風向風速表示装置によってデータの表示/監視ができます。



## 系統図



## 多彩な機能

- モデム使用により遠距離伝送が可能
- 再生中継器使用により更に長距離伝送可能
- パソコン等の外部装置に接続可能

## 関連機器

- 風向風速シミュレータ 001-12SM II
- 再生中継器 001-12TP
- 風向風速オンデマンドプリンタ 02-11WDS

## ■構成機器

- ◆センサー部：001-2B/6 風向風速発信器（ライトベーン型）  
ポリカーボネイト樹脂を多用した、小型軽量のセンサー部はブラシレス方式を採用しており、風向/風速ともに極めて安定長寿命化が図られています。更に、この小さなボディに8bit CPUを内蔵し、センサー内部でデータ処理を行い、RS-232C出力にて信号を伝送しますので、非常に安定したデータとなります。
- ◆モデムボックス：001-12MDM  
センサーからのRS-232Cの出力信号を受け長距離伝送可能なモデム信号とし、変調出力すると共に、送量器からのDC電源をディテクトしてセンサーの電源として供給する役目を持ちます。
- ◆送量器：001-12TX  
自器アドレスの信号と、自器より上位のアドレスを持つ送量器からの信号を受量し、多重化して、送出する機能を持っています。個別回線による単対向接続も、もちろん可能です。
- ◆受量器：001-12RX  
送量器からの信号を受信、復調し、各表示及び制御信号出力をすることができます。又、RS-232C出力を用意しておりますので、コンピュータへの接続やデータロギングも可能です。
- ◆風向風速表示器：001-12CP  
風向表示：平均風向（2分平均）（10度単位）  
：瞬間風向（10度単位）  
：36方位表示（平均風向準拠）  
風速表示：ピーク風速（5分間最大値保持）（1m/s単位）  
：瞬間風速（1m/s単位）